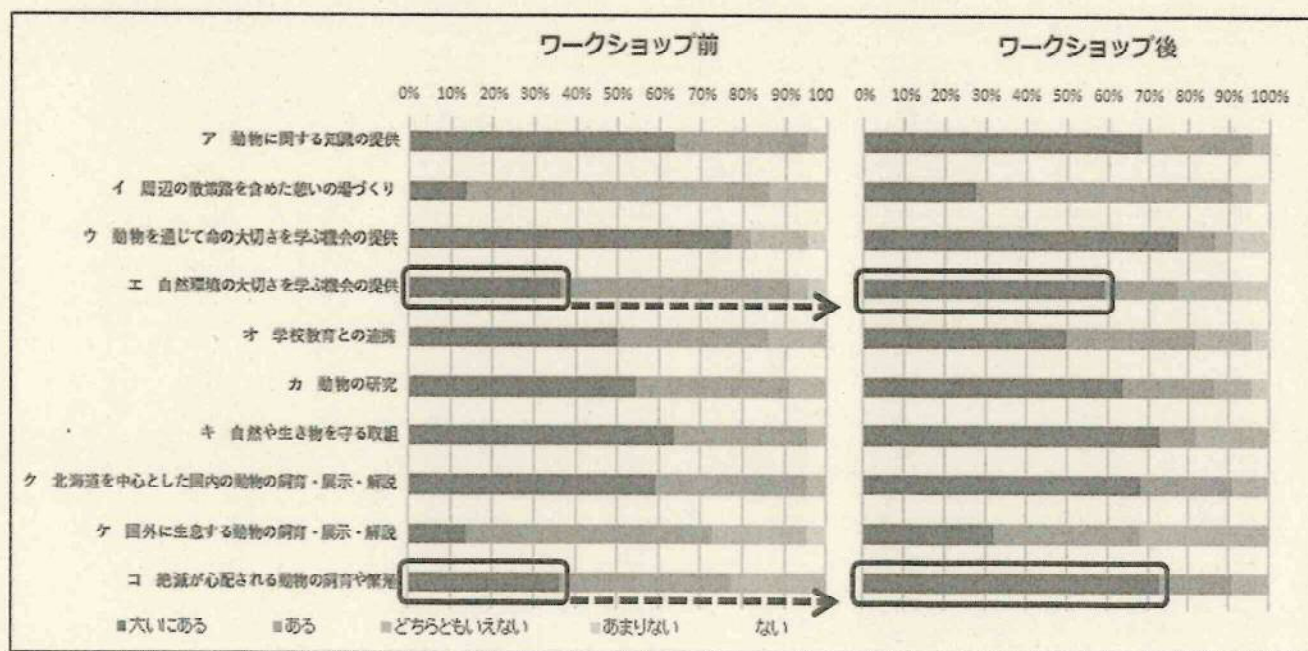


(2) 大人（18歳以上）を対象としたワークショップ

日 時	平成 30 年 2 月 4 日（日） 13：00～16：30
場 所	円山動物園 動物園プラザ
参加者数	22 名（住民基本台帳から無作為抽出した 18 歳以上の市民 2 千人に調査票を郵送することにより募集）
内 容	○園内のほか、は虫類・両生類館のセンターラボや猛禽類野生復帰施設など普段立ち入ることができない施設を見学。 ○円山動物園の社会的な役割について意見交換。
主な意見	○動物園の取組が多種多様で驚いた。 ○外部との連携がもっと必要ではないか。 ○動物園が研究に力を入れているのが意外であった。 ○動物園の取組を周知することに、もっと工夫を凝らす必要がある。 ○動物園は環境問題を考える場として重要である。 ○ワークショップのような市民参加の機会はとても良い。

○アンケート（関係項目抜粋）

市民ワークショップを行う前（申し込み時）に提出してもらった回答と、ワークショップ後の回答を比較したところ、いくつかの変化が見られました。たとえば、「円山動物園にどのような社会的役割があると思いますか」という設問に対し、「自然環境の大切さを学ぶ機会の提供」や「絶滅が心配される動物の飼育や繁殖」という項目について、「大いにある」と回答した人が増加しました。



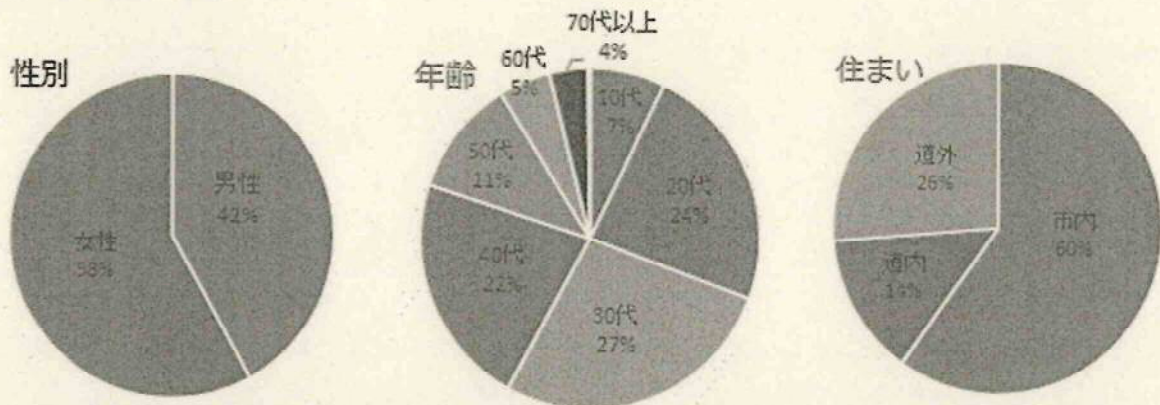
(3) シンポジウム「北海道の動物園の未来を語ろう！」

日 時	平成 30 年 3 月 11 日 (日) 13:00~16:00
場 所	円山動物園 科学館ホール
参加者数	80 名程度
内 容	<p>○神奈川大学法学部 准教授諸坂佐利氏による基調講演 「日本の動物園の課題、そして今後の展望」</p> <p>○パネルディスカッション 「北海道の動物園・水族館の未来を語る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネリスト 伊勢 伸哉 (日本動物園水族館協会副会長、おたる水族館 館長) 柚原 和敏 (おびひろ動物園 園長) 古賀 公也 (釧路市動物園 園長) 加藤 修 (円山動物園 園長) ・アドバイザー 諸坂 佐利 (神奈川大学法学部准教授) 小菅 正夫 (札幌市環境局参与)
参加者からの 主な意見	<p>○動物を見て、ただ「かわいい」と思うだけでなく、種の保存も考えたい。</p> <p>○動物園がただのレジャー施設ではないことが周知されていないのが問題である。</p> <p>○動物栄養士、心理士は必要だと思う。</p> <p>○スタッフが専門知識を得るための研修、研鑽を積み重ねていく必要がある。</p> <p>○思い切って動物の種類を減らし、北海道の野生動物の素晴らしさを伝えることも大事。</p> <p>○動物園の関係者だけでなく、実際に自然保護をやっている人たちに話を聞く方が良い。</p> <p>○動物園に関する法整備は動物だけでなく、働く人や来園者のためにも必要だと思った。</p> <p>○集客より動物の命重視でやって欲しい。</p> <p>○もっと屋外での保全に力を入れて欲しい。普及啓発で良い。</p> <p>○シンポジウムや講演会等をこれからも増やしてほしい。</p>

(4) 来園者アンケート

実施期間	平成 29 年 12 月 24 日～平成 30 年 1 月 22 日のうち計 10 日間
場 所	正門・西門
回答者数	416 人

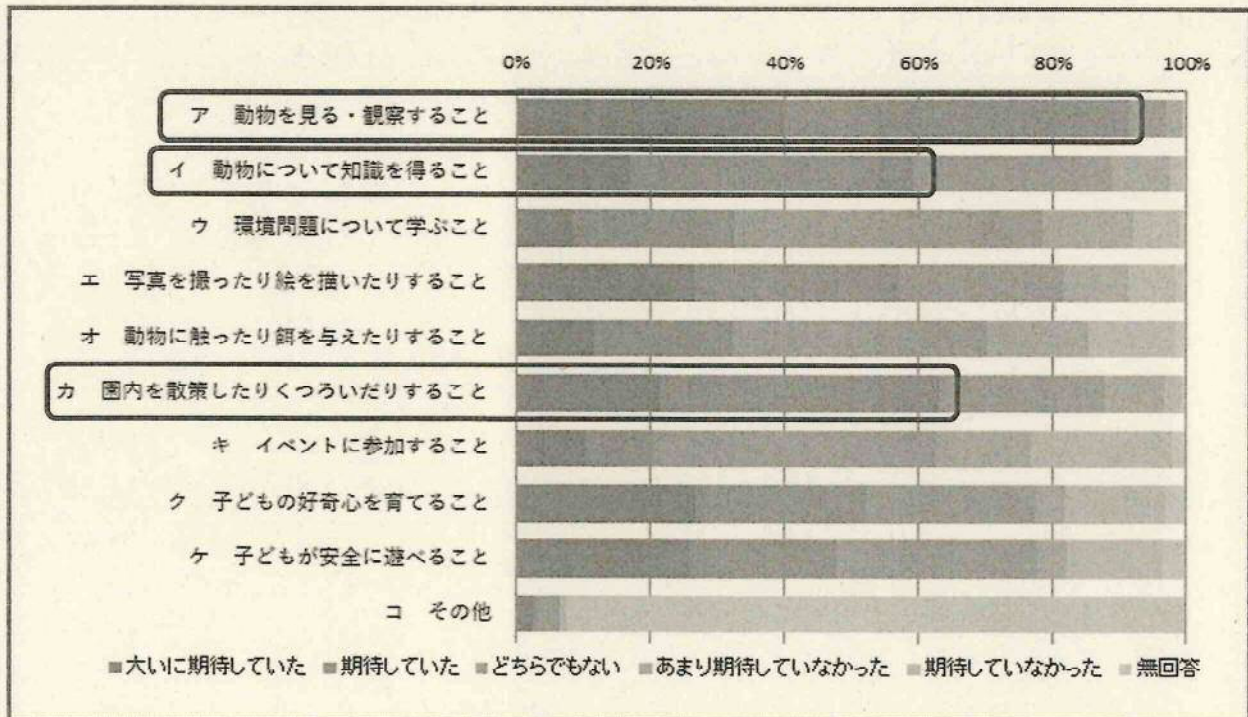
ア 回答者の内訳



イ アンケート結果（関係項目抜粋）

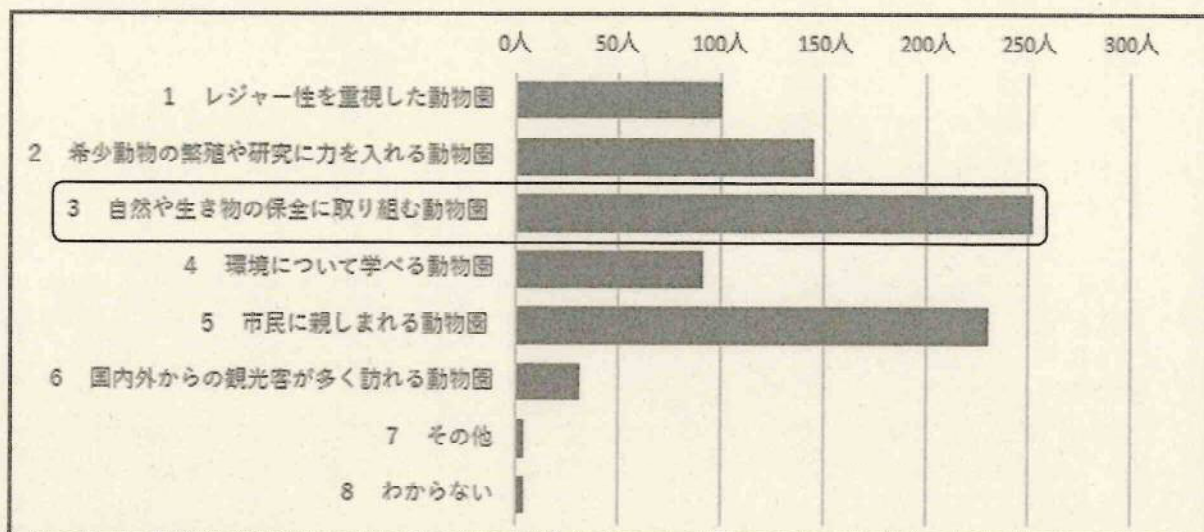
【問】あなたは、円山動物園にどのようなことを期待して来ましたか。

「大いに期待していた」と「期待していた」をあわせた割合は、「動物を見る・観察すること」がもっとも高かったのに続き、「動物について知識を得ること」や「園内を散策したりくつろいだりすること」といった項目で高くなりました。



【問】円山動物園がどのような動物園であってほしいですか。（優先順位が高いと思うものに3つまで回答）

「自然や生き物の保全に取り組む動物園」という回答が、円山動物園に望む姿として、もっとも多くの回答を得ました。



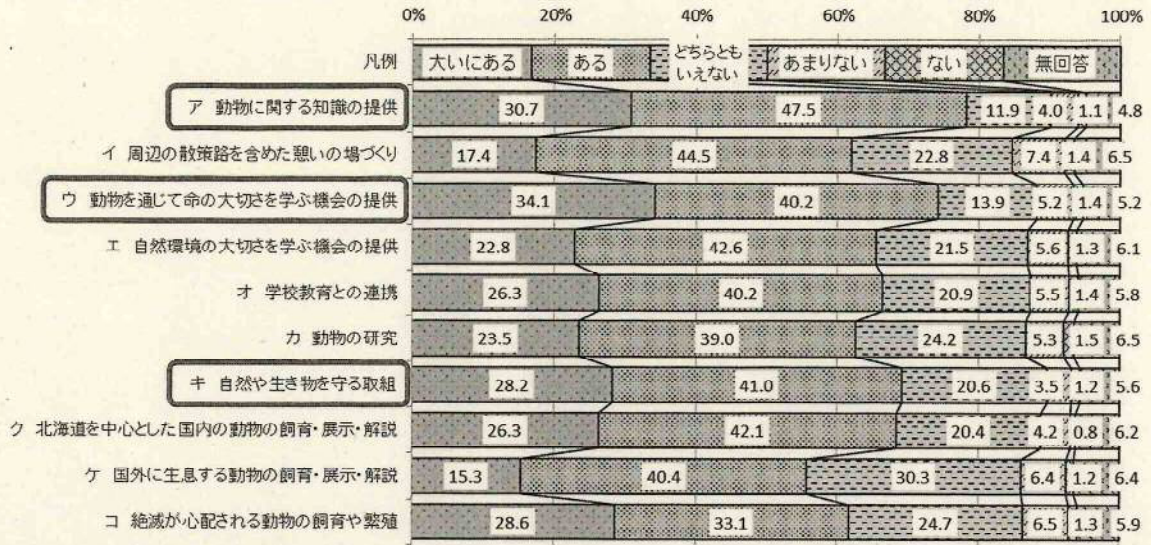
(5) 市民意識調査

実施期間	平成 30 年 1 月 12 日～1 月 26 日
調査方法	住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」により抽出した札幌市内の満 18 歳以上の男女個人 5,000 人に対して調査票を郵送し、返信用封筒で回収。
回収数	2,602

ア アンケート結果（関係項目抜粋）

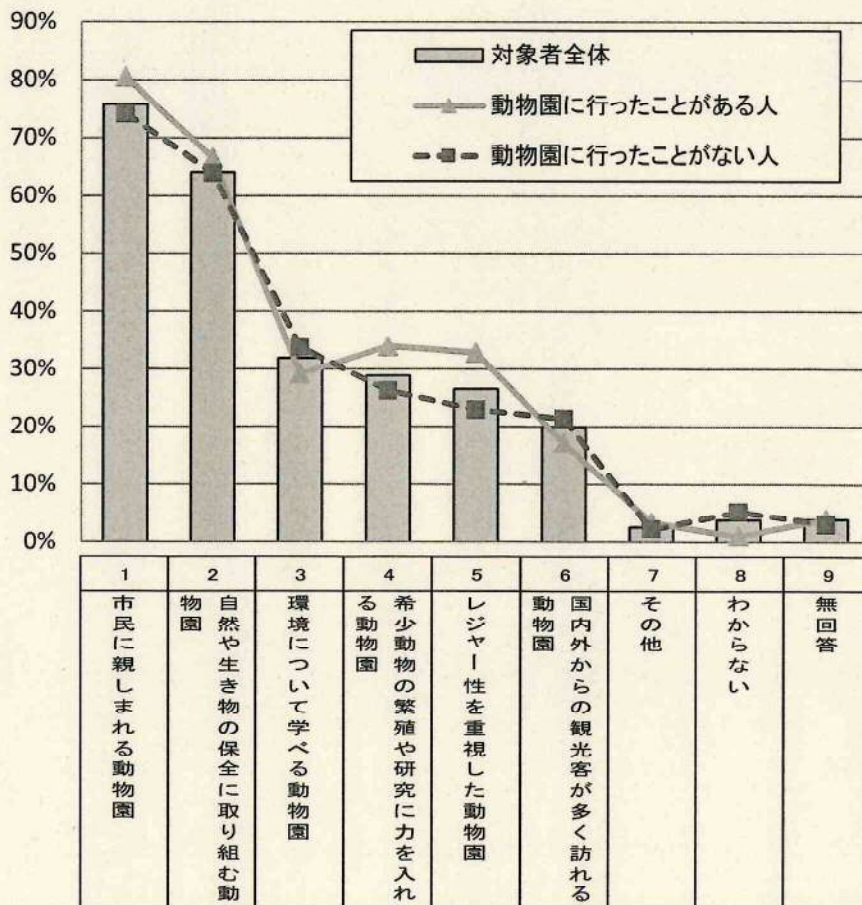
【問】あなたは、円山動物園にどのような社会的役割があると思いますか。また、円山動物園がその役割への期待に応えていると思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

「大いにある」と「ある」をあわせた割合は、「動物に関する知識の提供」が 78.2%、「動物を通じて命の大切さを学ぶ機会の提供」が 74.3%、「自然や生き物を守る取組」が 69.2%となりました。



【問】あなたは、円山動物園がどのような動物園であってほしいですか。優先順位が高いと思うものに3つまで○をつけてください。

「市民に親しまれる動物園」が75.8%、次いで「自然や生き物の保全に取り組む動物園」64.0%となりました。



札幌市円山動物園基本方針 「ビジョン2050」(案)

皆さまからのご意見を募集します！

～パブリックコメントの実施について～

札幌市円山動物園では、開園100年目である2050年に向けて、円山動物園が持続可能であるために、何を目指し、どのように進んでいくのか。また、そこで働く職員がその実現のために、何に取り組んでいくかについて検討を進め、円山動物園基本方針「ビジョン2050」(案)として取りまとめました。

この「ビジョン2050」(案)に対する、皆さまからのご意見を募集します。

お寄せいただいたご意見を参考とし、平成31年(2019年)3月頃に「ビジョン2050」を策定・公表する予定です。

意見募集期間

平成31年(2019年)1月17日(木)から
平成31年(2019年)2月17日(日)まで

平成31年(2019年)1月

札幌市円山動物園

市政等資料番号
01-J03-18-2457

ご意見募集要項

1 募集期間

平成31年(2019年)1月17日(木)から2月17日(日)まで【必着】

2 提出方法

(1) 郵送・持参・ファックスの場合

添付の「ご意見記入用紙」に記入し、提出してください。

※ご持参いただく場合の受付時間は、休園日(1月23日・2月13日)を除く
9時30分から16時までとなります(最終入園15時30分)。

(2) 電子メールの場合

件名を「ビジョン2050(案)について」とし、本文に「お名前・年齢・住所・
ご意見」を記入し、送付してください。

電子メールアドレス：zoo.kanri@city.sapporo.jp

(3) ホームページの「ご意見募集フォーム」から送信する場合

以下のURLにアクセスしてください。

<http://www.city.sapporo.jp/zoo/torikumi/vision2050/20190117goiken.html>

【留意事項】

・電話、口頭によるご意見の受け付けや、個別の回答はいたしません。なお、ご意見の概要とそれに対する札幌市円山動物園の考え方については、「ビジョン2050」と併せて公表します。

・ご意見の提出にあたっては、お名前、年齢、住所をご記入ください。

・ご意見概要を公表する際には、お名前、年齢、住所は公表いたしません。いただいた情報は、札幌市個人情報保護条例の規定に則って、適正に取り扱います。

3 資料の配布場所

札幌市円山動物園

札幌市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー

各区役所(総務企画課広聴係)

各まちづくりセンター

環境プラザ(北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階)

4 ご意見の提出先・問い合わせ先

札幌市環境局円山動物園 経営管理課(〒064-0959 札幌市中央区宮ヶ丘3番地1)

電話：011-621-1426 ファクス：011-621-1428

電子メールアドレス：zoo.kanri@city.sapporo.jp

皆さんからのご意見をお待ちしております。

円山動物園基本方針「ビジョン 2050」(案)についてご意見を募集します。

いただいたご意見については、円山動物園基本方針「ビジョン 2050」を策定するに当たり、参考とさせていただきます。

また、趣旨が同じご意見を集約した上で、ご意見に対する札幌市円山動物園の考え方について、取りまとめて公表します。

意見募集期間

平成31年1月17日(木)～2月17日(日) <必着>

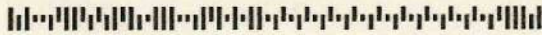
やま折り①

料金受取人払郵便

山
鼻
局
認

5204

差出有効期間
平成31年2月
28日まで
●切手不要



切り取り

064-8790

359

札幌市円山動物園経営管理課 行

札幌市中央区宮ヶ丘3番地1

やま折り②

円山動物園基本方針「ビジョン2050」(案)の これまでの経過と今後のスケジュール

1 これまでの経過

- 平成30年4月4日 平成30年度第1回市民動物園会議
～6月 園内職者検討会
6月24日 環境局内関係課長会議
7月30日 第6回検討部会
8月6日 第1回環境局内関係部課長会議
8月24日 第2回環境局内関係部課長会議
9月26日 第3回環境局内関係部課長会議
10月19日 環境局内関係課長会議
10月29日 庁内関係課長会議
11月5日 庁内関係部長会議
11月14日 企画調整会議(局長会議)
11月21日 市長副市長会議
12月11日 総務委員会で報告
平成31年1月15日 平成30年度第2回市民動物園会議

2 今後のスケジュール

(1) パブリックコメント

ア 実施期間

平成31年(2019年)1月17日(木)から2月17日(日)までの32日間

イ 資料の配布場所

札幌市円山動物園

札幌市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー

各区役所(総務企画課広聴係)

各まちづくりセンター

環境プラザ(北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階)

円山動物園ホームページ

(2) 確定・公表

平成31年3月下旬予定

(3) 実施計画

次期札幌市中長期計画(アクションプラン)に合わせ、平成31～35年度の5か
年を計画期間とするよう検討を進める。

アジアゾウの命名について

2019/1/15 市民動物園会議資料

1 アジアゾウ4頭の来園について

- (1) 来園日
平成30年11月30日(金) 21時頃 園に到着
- (2) 輸送方法
ミャンマー国から空輸で新千歳空港に、新千歳空港からトラックで当園に輸送
- (3) 現在のゾウの状況
新しいゾウ舎にて、馴致及び飼育に必要なトレーニングの実施中
- (4) 一般公開日
この春を予定

2 個体情報

- (1) 雌15歳(2003年9月12日生)、愛称: Pearl Moe (パール モー)、意味: 真珠の雨、2500 kg程度
- (2) 雌(母)27歳(1991年4月28日生)、愛称: Shu Thein Nu (シュ ティン ヌ)、意味: 淑やかな、3000 kg程度
- (3) 雌(子)5歳(2013年5月12日生)、愛称: Nvein Shu Ngwe Soe (ニヤイン スグェ ソー)、意味: 温和、2000 kg程度(成長中)
- (4) 雄10歳(2008年8月4日生)、愛称: Si Shwe Thit (シー シュエ ティ)、意味: 金、2500 kg程度(成長中)

3 命名する愛称の募集状況について

- (1) 募集期間
平成30年12月18日(火)～平成31年1月3日(木) 消印有効
- (2) 募集方法
円山動物園のHPのフォーム又は郵便
- (3) 愛称募集の広報
ア 12/17の市長記者発表
イ 円山動物園のHP、Twitter、園内で動画及びポスター掲示
ウ マルヤマクラスにポスター掲示及びPR動画放送
エ 12/25のNHKに園長が出演してのPR
オ 各種報道機関での記事
- (4) 応募件数
1,003人から、3,549個の愛称の応募あり

アジアゾウの命名について

2019/1/15 市民動物園会議資料

4 命名する名前候補（投票対象）の選定について

- (1) 園及びボランティアによる候補の選定（20セット）

園長ほか職員4人及び円山動物園ボランティアにて、20セットまで候補を選定
別添資料のとおり

- (2) 市民動物園会議での候補選定（10セット）

園で選定した20セットから、更に投票対象の10セットを選定

5 今後の命名準備について

- (1) 愛称の決定方法

10セットの愛称候補から、来園者の投票で決定

- (2) 投票期間（予定）

平成31年1月下旬～2月17日（日）

- (3) 投票場所

円山動物園内及びマルヤマクラス内に設置した投票箱への投票

- (4) 発表

ゾウ舎オープン前の命名式で発表予定。

「改善勧告についての市民動物園会議からの3つの提言」に関する結果報告

項目	提言内容	結果
I 組織強化のあり方	①獣医療を複合的に担う専門的な組織を新たに設けるべきである。	①獣医療体制の強化を図るため、平成28年度から獣医師で構成される動物診療担当課(課長職1名、係長職1名、一般職3名)を新設した。
II 人材確保・育成のあり方	②受験資格について、現在の「高校卒業以下」から「高校卒業以上」に変更にするなど、飼育員を希望する者に対して、現状よりも広く門戸を開くべきである。	②平成29年4月から「動物専門員」を新設し、受験資格を「高校卒業以上」とした。 ■「動物専門員」の受験資格(学歴要件) ・大学、高等専門学校、専修学校において、動物に関連する課程・学部・学科を卒業・修了もしくは卒業・修了見込みの者。 ・高校を卒業している者もしくは卒業見込みの者で、日本動物園水族館協会加盟の動物園または水族館において、2年以上の飼育業務の職務経験を有する者。 ※平成29年度新採用：3名 ※平成30年度新採用：6名 ※平成31年度新採用：7名(予定)
	③動物飼育員の職を現在の「現業職員」から「一般職員」に変更すべきである。	③平成29年4月から「動物専門員」(一般職員)を配置 ・「飼育員」(現業)20名：転任試験合格者は「動物専門員」に転任(H28～30年度に各1回転任試験を実施) ※平成28年度最終合格者：7名 ※平成29年度最終合格者：1名 ※平成30年度最終合格者：3名 ・平成31年4月から動物飼育展示業務はすべて「動物専門員」が行う予定
	④飼育員の増員を検討すべきである。	④動物飼育に従事する職員を平成29年度に3名、平成30年度に4名増員した。 ※増員分は「動物専門員」を新たに採用
	⑤中長期的な視点に立った人材育成プログラムを整備すべきである。	⑤高い知見の収集や新しい技術の修得・蓄積が行われるよう、園内のみならず、国内外の他園館での研修実施や学会、研究会の参加等により、職員の育成を積極的に実施している。 ・外部講師や小菅参与による動物専門員を対象にした勉強会等を定期的に開催している。 ・平成29年2月に締結した北海道大大学院獣医学研究科・獣医学部との連携協定によって、当園の獣医師が同大学主催の講義に参加するなどの連携交流を行っている。
	⑥開園時間については、一定程度の短縮を図るべきである。 あわせて、現在の冬期間(11月から1月)については、より適切な時期に延長するよう、見直しを図るべきである。	⑥⑦動物舎の安全点検や職員の情報共有の拡充など、開園準備を万全に整えるため、平成28年4月から開園時間の短縮及び休園日を増加した。 ■開園時間 3月1日～10月31日 09:30-16:30 11月1日～2月末日 09:30-16:00 ■休園日 毎月第2、第4水曜日(祝日の場合は翌日) 4月第3週の月～金曜日 11月第2週の月～金曜日 12月29日～31日
⑦休園日については、現状に加え、一定程度の増加を図るべきである。		
III 開園時間又は休園日のあり方	⑥開園時間については、一定程度の短縮を図るべきである。 あわせて、現在の冬期間(11月から1月)については、より適切な時期に延長するよう、見直しを図るべきである。	⑥⑦動物舎の安全点検や職員の情報共有の拡充など、開園準備を万全に整えるため、平成28年4月から開園時間の短縮及び休園日を増加した。 ■開園時間 3月1日～10月31日 09:30-16:30 11月1日～2月末日 09:30-16:00 ■休園日 毎月第2、第4水曜日(祝日の場合は翌日) 4月第3週の月～金曜日 11月第2週の月～金曜日 12月29日～31日
	⑦休園日については、現状に加え、一定程度の増加を図るべきである。	

主な転入・転出動物の状況（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

月 日	内 容
5月20日	ハリスホーク 雄1羽搬出(動物エコ専門学校へ)
5月20日	コールダック 5羽搬入(動物エコ専門学校から)
6月13日	キリン 雄1頭搬入(多摩動物公園から)
7月5日	エゾリス 2頭(旭山動物園へ)
10月25日	シシオザル 雌1頭搬出(天王寺動物園へ)
10月25日	イヌワシ 雄1羽(多摩動物公園へ)
11月3日	ボルネオオランウータン 雄1頭搬出(とべ動物園へ)
11月30日	アジアゾウ 雌3頭、雄1頭搬入(ミャンマーから)

主な死亡動物の状況

月 日	内 容
5月3日	ヨツメイシガメ 1頭死亡
5月15日	ニホンザル 雌1頭死亡
5月16日	エゾフクロウ 1羽死亡
5月28日	ウサギ(ネザーランドドワーフ) 雄1羽死亡
6月9日	アルマジロトカゲ 雄1頭死亡
6月11日	ニホンザル 雌1頭死亡
8月19日	オシドリ 雄1羽死亡
9月11日	ゴイサギ 1羽死亡
9月17日	ウサギ(ロップイヤー) 雄1羽死亡
10月8日	スローロリス 1頭死亡
10月27日	エゾシカ 雄1頭死亡
11月7日	ニホンザル 雌1頭死亡
11月29日	ベニイロフラミンゴ 雌1羽死亡
12月23日	ニホンザル 雌1頭死亡

主な繁殖動物の状況

月 日	内 容
4月7日	フンボルトペンギン 1羽繁殖
4月18日	トビ 1羽繁殖
4月20日	トビ 1羽繁殖
5月16日	エゾフクロウ 1羽繁殖
5月12日	テンジクネズミ 雄2頭、雌2頭繁殖
6月7日	エゾリス 3頭繁殖
6月7日	エゾモモンガ 3頭繁殖
7月21日	エランド 雄1頭繁殖
10月11日	ハダカデバネズミ 1頭繁殖